

# 阿南市立山口小学校



## 1 学校の概要

- ① 児童数 35名
- ② 校訓

「明るく豊かに学び 共に支え合って歩もう」  
めざす児童像

- ・自分の思いをもち、進んで学ぶ子
- ・支え合い、認め合い、励まし合う子
- ・体を鍛え、明るく、粘り強い子

- ③ 環境目標・テーマ

～広げよう、学校と地域の連携で取り組むエコプロジェクト

親しまう、地域の自然から学び、郷土を大切にする学校づくり～

- 1. 「節電節水」「ごみの分別」「リサイクル」に取り組み、資源を守ろうとする学校づくり
- 2. 地域と共に学校周辺の環境美化に取り組み、地域の自然環境を大切にする学校づくり
- 3. 地域の自然環境の中で学んだり体験したりする活動を通して、豊かな環境学習に取り組む学校づくり

## 2 行動方針

- ① 学校における節電や節水に努める。
- ② 学校におけるごみの分別に努める。
- ③ 地域や学校におけるリサイクル活動に努める。
- ④ 地域の清掃活動に取り組む。
- ⑤ 地域の河川における環境学習や体験活動に取り組む。

## 3 行動

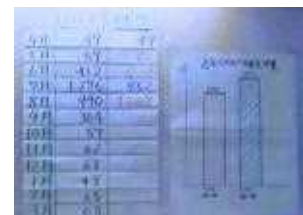
- ① 学校における節電や節水に努める。



手洗いや歯磨きなどで使用する水の節水を心がけている



使用していない教室や廊下の照明などをこまめに消す



節電節水を呼びかけるポスターを作成して、注意を促した

- ② 学校におけるごみの分別に努める。

環境ボランティア委員会を中心に、毎日、可燃物、不燃物、プラスチック製容器包装、カン、ビン、ペットボトル等、ごみ分別をきちんと行った



③ 地域や学校におけるリサイクル活動に努める。



児童と保護者が協力して、地域の商店や会社から、段ボールを回収している



地域に呼びかけ、6月と2月（予定）に資源ごみの回収を行う

④ 地域の清掃活動に取り組む。



県OURロードアドプト事業に参加し学校前の歩道や生け垣などの清掃活動を行っている

⑤ 地域の河川における環境学習や体験活動に取り組む。



4年生の理科学習で、川の調査をしたり、下水処理の実態について学習した



わじき B&G カヤックスクールでラフティング教室を開き、那賀川の豊かな自然に、親しんだ

#### 4 具体的効果

- ◆ 環境ボランティア委員会が毎日のゴミの分別の確認や、節水節電の呼びかけを集会で行うなど中心になって行い、意識の啓発に努めることができた。
- ◆ 稲刈りや河川に親しむ活動（ラフティング教室）などを通して、豊かな自然の恵みを体感し、日々の暮らしの中で自然を守ることを実践していこうとする意欲につながることができた。
- ◆ 保護者・地域の協力を得て段ボール回収が毎月実施されるなど、地域を挙げたりサイクル活動が定着している。今後も継続していきたい。

#### 5 改善点

- ◆ 山口小学校独自の取り組みについて、環境との結びつきをさらに深めていくことによって付加価値を付け、教育に活用していくように取り組んでいく。
- ◆ 職員同士の認識をさらに深めていくために、「新 学校版環境 ISO」計画書を職員室などに掲示し、全職員の共通理解のもと取り組むことができるようにする。
- ◆ 校内掲示ISOコーナーや節水節電の啓発ポスターの内容を1年生の児童にも理解できるように工夫し、節水節電・ごみの分別・リサイクル・環境美化保全に意欲的に取り組むことができるようにする。